

対象年度	令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名	施設整備事業（交通安全施設）							予算事業名	施設整備事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			02	07	02	20	経常経費					
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう							事業の区分	主要事業			
	安全に暮らせるまちづくり											
	交通安全対策の推進							担当課係等	防災安全課			
事業期間	継続 （ 年度～ 年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
民家や照明等のない暗い通学路に対し、街路灯を設置することで、児童生徒の通学時の安全対策を図る。							通学路の安全確保のため、設置基準を設けて街路灯を設置している。					
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】					
申請を受け、内容の審査及び現地確認等を行い、許可案件について街路灯を設置する。							児童生徒をはじめ、付近住民および通行者					
							【事業をとりまく環境の変化】					
							交通安全及び防犯対策の観点からも街路灯の設置要望数が増加している。					
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				
申請を受け、内容の審査及び現地確認等を行い、許可案件について街路灯を設置する。				申請を受け、内容の審査及び現地確認等を行い、許可案件について街路灯を設置する。				申請を受け、内容の審査及び現地確認等を行い、許可案件について街路灯を設置する。				

■事業費

		R04年度	R05年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他の	0	0			
	一般財源	147	495			
歳入計（千円）		147	495			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	14 工事請負費	147	495			
歳出計（千円）（A）		147	495			
伸び率（％）			236.73			
備考	総合計画74ページ、予算書75ページ					

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	L E D街路灯の新設（年間）	基	目標	10.00	12.00	10.00
			実績	4.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	設置基数	基	目標	1,315.00	1,320.00	1,330.00
			実績	1,308.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	交通安全及び防犯対策の観点からも必要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	基本的な設置個所は集落間の暗い通学路であり、市で実施することは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	一般的な手段である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	すべてL E Dであり、電気代や球切れ時の交換経費などが縮減でき、コストの削減が図られている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内全域が対象であり、設置基準を設けて必要とされる箇所に設置しているので、偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	今後、L E D灯を設置していくことで、交通安全や防犯上の効果が上がるとともに、蛍光灯に比べ経費の節減になっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	限られた予算の中で計画的に事業を進めている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
設置要望のある箇所に、市の設置基準の基づき精査したうえで今後も設置していく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
通学路街路灯の趣旨を自治会等に説明し、集落の中は市の補助金を活用して自治会等に防犯灯を設置してもらう。一方、集落間の暗い通学路は市が通学路街路灯を設置していくという市の方針に基づき、地域の中で街路灯の必要箇所を検討してもらい、基準に照らしてL E D灯を設置していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 通学路における児童生徒の安全を確保するうえで重要な事業であることから、継続していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	